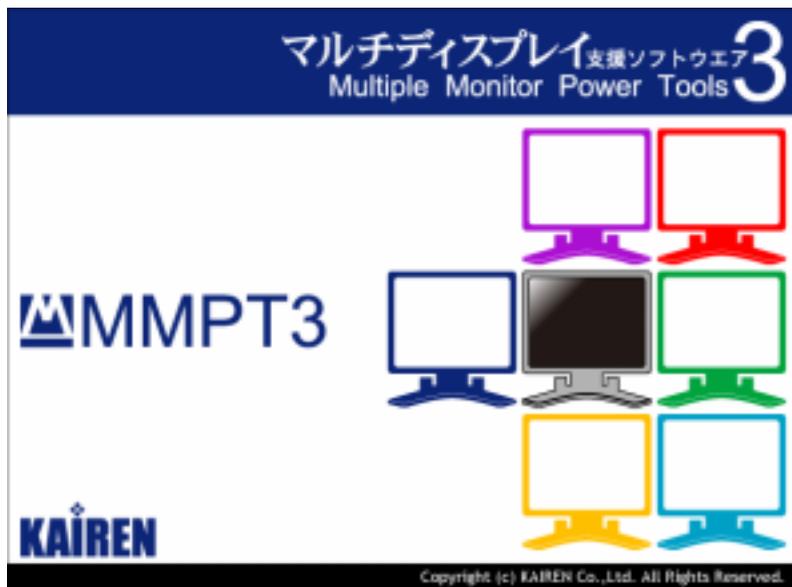


Multiple Monitor Power Tools 3

ユーザーズマニュアル



はじめに

「Multiple Monitor Power Tools 3」 とは

本ソフトウェアは、マルチディスプレイ機能をより快適に利用するためのアプリケーションソフトです。マルチディスプレイ機能はマイクロソフト社のオペレーティングシステム(OS)が提供するサービスです。本ソフトウェアがインストールされていないパソコンでも、マルチディスプレイ機能を使用できます。本ソフトウェアの機能は、「第4章 『Multiple Monitor Power Tools 3』の使用法」をご参照ください。

「Multiple Monitor Power Tools 3 -体験版-」をご利用のお客様へ

「Multiple Monitor Power Tools 3」体験版のお試し期間は30日間です。試用期間終了後、継続して本ソフトウェアをご利用になる場合、以下のWebサイトから正規版をご購入いただけます。試用期間中の機能制限はございません。

有限会社 海連 「Lubic.jp」通販係

TEL: 04-2928-6836 URL: <http://www.lubic.jp/>

お申し込み方法、移行手続きはWebサイトでご確認ください。

お電話による通信販売も承っております。お気軽にお問合せください。

「Multiple Monitor Power Tools 3 -正規版-」をご利用のお客様へ

「Multiple Monitor Power Tools 3」のライセンスをご購入いただき誠にありがとうございます。本書は共通マニュアルとして作成されている都合上、体験版の記載がございます。予めご了承ください。

ご注意

- ・ 本書は、有限会社 海連による、「Multiple Monitor Power Tools 3」ソフトウェア契約ユーザーに対する情報提供を唯一の目的とし、明示あるいは暗示であるを問わず、内容に関して一切の保証をするものではありません。このソフトウェアおよびマニュアルを運用した結果の影響については責任を負いかねますので、ご了承ください。
- ・ 本製品(コンピュータプログラムとマニュアルその他の関連資料を含む)の一部または全部を弊社の書面による許可なく複製・複製することは、固く禁じます。本製品の内容・仕様は、訂正・改善のために予告なく変更することがございますので予めご了承ください。
- ・ 万一、乱丁・落丁がございましたら、お手数ですが、弊社宛てにご返送ください。お取替えさせていただきます。本書の内容に関して万一ご不信な点やお気づきの点がございましたら、カスタマーサポート係までご連絡ください。

『Multiple Monitor Power Tools 3』は、有限会社 海連の商標です。

『Multiple Monitor Power Tools 3』は、株式会社プロジェクトアイによって開発されたソフトウェアです。Microsoft、Windows、Windows NT、Word、Excel、PowerPointは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Adobe、Acrobat ReaderはAdobe Systems Incorporated(アドビシステムズ社)の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。

その他記載されている会社名、及び製品名は、各社の商標または登録商標です。

使用許諾契約書

使用許諾契約書

重要 以下のライセンス契約書を注意してお読みください。本使用許諾契約書（以下「本契約書」といいます）は、『Multiple Monitor Power Tools 3』（以下「本ソフトウェア製品」といいます）に関してお客様（個人または法人のいずれであるかを問いません）と 有限会社 海連（以下「弊社」といいます）との間に締結される法的な契約書です。本ソフトウェア製品は、コンピュータ ソフトウェアおよびそれに関連した媒体、ならびに印刷物（マニュアルなどの文書）、「オンライン」、または電子文書を含むこともあります。本ソフトウェア製品には、弊社によって提供されている本ソフトウェア製品のアップデートおよび機能追加のためのソフトウェアも含まれていることがあります。本ソフトウェア製品に加えて提供されるソフトウェアに別途の使用許諾契約書が添付されている場合、それらの使用許諾契約書が適用されます。本ソフトウェア製品をインストール、複製、ダウンロード、アクセス、または使用することによって、お客様は本契約書の条項に拘束されることに承諾されたものとします。本契約書の条項に同意されない場合、弊社は、お客様に本ソフトウェア製品のインストール、使用または複製のいずれも許諾できません。

ソフトウェア製品ライセンス 本ソフトウェア製品は、著作権法および著作権に関する条約をはじめ、その他の無体財産権に関する法律ならびに条約によって保護されています。本ソフトウェア製品は許諾されるもので、お客様が販売できるものではありません。

ライセンスの許諾 本契約書は、お客様に対し以下の権利を許諾します。

アプリケーション ソフトウェア お客様は、本ソフトウェア製品のコピー 1 部をまたは本ソフトウェア製品の同じオペレーティング システム用の旧バージョンのコピー 1 部を特定の 1 台のコンピュータ、ワークステーション、ターミナル（端末）、ハンドヘルド パーソナルコンピュータ、ページャー（無線呼び出し）、「スマート フォン」、またはその他のデジタル電子デバイス（以下総称して「コンピュータ」といいます）にインストールして使用、アクセス、表示、実行、またはその他のやりとり（以下総称して「実行」といいます）することができます。

記憶装置/ネットワークの使用 お客様は、ネットワークサーバーのような記憶装置に、本ソフトウェア製品のコピー 1 部を蓄積またはインストールすることもできます。かかる記憶装置は、本ソフトウェア製品を内部ネットワークで他のコンピュータ上で実行するためだけに使用されるものでなければなりません。ただし、記憶装置から本ソフトウェア製品を実行しているコンピュータ 1 台につき、専用のライセンスを 1 つ取得しなければなりません。また、本ソフトウェア製品についての 1 つのライセンスを異なるコンピュータ間で共有したり同時に使用したりすることはできません。

権利の帰属 本契約書に特に規定されていない権利はすべて弊社によって留保されます。

その他の権利と制限

移管 お客様は、本ソフトウェア製品を他のコンピュータに移管することができますが、本ソフトウェア製品は、移管前のコンピュータから消去されなければなりません。

Not for Resale お客様が入手された本ソフトウェア製品に「Not for Resale」または「NFR」と明記されている場合、本契約書の他の規定にかかわらず、お客様は、本ソフトウェア製品をデモンストレーション、テスト

または評価以外の目的に使用することはできず、本ソフトウェア製品を再販売またはその他のいかなる方法でも譲渡することはできません。

リバース エンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルの制限 お客様は、本ソフトウェア製品をリバース エンジニアリング、逆コンパイル、または逆アセンブルすることはできません。

構成部分の分離 本ソフトウェア製品は 1 つの製品として許諾されています。その構成部分を分離して複数のコンピュータで使用することはできません。

商標 本契約書は、お客様に弊社ならびに開発元の商標またはサービスマークに関連した権利を許諾するものではありません。

レンタル お客様は本ソフトウェア製品をレンタルまたはリースすることはできません。

サポート サービス 弊社ならびに開発元は、本ソフトウェア製品に関するサポート サービス（以下「サポート サービス」といいます）をお客様に提供することがあります。サポート サービスについては、ユーザーマニュアル、オンライン ドキュメント、または弊社提供の印刷物などに記載されている弊社のポリシーおよびプログラムに従ってご利用になれます。サポート サービスの一部としてお客様に提供された追加のソフトウェア コードは、本ソフトウェア製品の一部とみなされ、本契約書の条件および条項が適用されます。サポート サービスの一部としてお客様から弊社に提供される技術情報に関して、弊社ならびに開発元は、そのような情報を製品サポートおよび開発を含む商業目的に使用することがあります。ただし、弊社ならびに開発元はお客様を特定するような方法で技術情報を利用しないものとします。

解除 お客様が本契約書の条項および条件に違反した場合、弊社は、他の権利を害することなく本契約を終了することができます。そのような場合、お客様は本ソフトウェア製品の複製物およびその構成部分を全て破棄しなければなりません。

アップグレード 本ソフトウェア製品がアップグレードである場合、お客様は、本ソフトウェア製品を使用するためには、弊社によってアップグレード対象製品と指定されているソフトウェア製品を使用するためのライセンスを正規に取得していなければなりません。アップグレードである本ソフトウェア製品は、そのアップグレードの対象となる製品の代替、あるいはこれに追加されるものです（アップグレードの対象となる製品を使用不可にする場合もあります）。お客様は、アップグレードにより得られたソフトウェア製品を、本契約書の条項に従ってのみ使用することができます。複数のコンピュータ プログラムのコンポーネントから成り、これらが 1 つの製品とされている場合において、本ソフトウェア製品がそのコンポーネントのアップグレードとして提供されている場合、お客様は本ソフトウェア製品を 1 つの製品としてのみ使用または譲渡できるものとし、各構成部分を分離して複数のコンピュータ上で使用することはできません。

著作権 本ソフトウェア製品（本ソフトウェア製品に組み込まれたイメージ、写真、アニメーション、ビデオ、音声、音楽、テキスト、「アプレット」を含みますが、それだけに限りません）、付属のマニュアルなどの文書、および本ソフトウェア製品の複製物についての権原および著作権は、弊社またはその開発元が有するものです。本ソフトウェア製品を使ってアクセスされるコンテンツについての権原および無体財産権は、各コンテンツ所有者の財産であり、著作権法およびその他の無体財産権に関する法律ならびに条約によって保護されています。本契約書は、そのようなコンテンツの使用権を許諾するものではありません。本ソフトウェア製品のドキュメントが電子形式でのみ提供されている場合、お客様はそのようなドキュメントのコピーを 1 部印刷することができます。お客様は、本ソフトウェア製品付属のマニュアルなど文書を複製することはできません。

バックアップ コピー お客様は、本契約書に従って本ソフトウェア製品のコピー 1 部をインストールした後で、弊社によって提供された本ソフトウェア製品のオリジナルの媒体を、保存またはコンピュータ上の本ソフト

ウェア製品を復元する目的に保管することができます。また、コンピュータ上で本ソフトウェア製品を使用するために本ソフトウェア製品のオリジナルの媒体が必要な場合、本ソフトウェア製品を復元する目的に、本ソフトウェア製品のコピー 1 部を作成することができます。本契約書に明示に規定されている場合を除き、お客様は、本ソフトウェア製品のコピーを作成したり、付属のマニュアルなど文書を複製したりすることはできません。

輸出規制 お客様は、本ソフトウェア製品、工程、または本ソフトウェア製品の直接の成果として得られるサービス（以下総称して「制限付きコンポーネント」といいます）を日本およびアメリカ合衆国の輸出規制の対象である国、個人、法人あるいはエンドユーザーに輸出または再輸出しないことに同意されたものとします。特に、日本およびアメリカ合衆国が商品若しくはサービスを禁止または制限している以下に対して制限付きコンポーネントを輸出または再輸出しないことに同意されたものとします。(i) 現在規制が行われている国はキューバ、イラン、イラク、リビア、北朝鮮、スーダン、およびシリアを含みますが、これらに限定されません。または、国外にいるか、その国の国民で、制限付きコンポーネントを送付、送信、あるいは輸送しようとする者、(ii) 制限付きコンポーネントを核兵器、化学兵器または生物兵器の設計、開発、または生産に利用するおそれのある個人または法人、または (iii) アメリカ合衆国連邦機関により輸出取引を禁止されている個人または法人。お客様は、アメリカ合衆国輸出管理局およびその他のいかなる米連邦政府機関によっても輸出特権を一時停止、取り消し、あるいは拒否されていないことを保証し、表明するものとします。

第三者のソフトウェア 弊社ならびに開発元は、本ソフトウェア製品とともに、第三者のソフトウェア製品（以下「第三者ソフトウェア製品」といいます）を提供する場合があります。別の規定に従い取り扱われるべき旨の記載が、本ソフトウェア製品付随のマニュアルに記載されている場合には、本契約の規定にかかわらず、その別の規定に従い取り扱われるものとし、弊社ならびに開発元によるサポートおよび保証等については、以下の規定が適用されるものとします。

サポート サービス 第三者ソフトウェア製品およびそれに関するドキュメンテーションは、何等保証もない現状有姿のまま提供されるものですので、弊社およびその関係者は、第三者ソフトウェア製品に関しての操作方法、瑕疵その他に関してサポートを提供するものではありません。

無保証 第三者ソフトウェア製品およびドキュメンテーションは、何等保証もない現状有姿のまま提供されるものですので、弊社およびその関係者は、商品性、および特定目的に対する適合性の保証その他一切の保証を、明示であると黙示であるを問わず、一切いたしません。第三者ソフトウェア製品およびドキュメンテーションの使用もしくは機能から生じる全ての危険は、お客様が負担しなければなりません。

免責 いかなる場合においても弊社およびその関係者は、第三者ソフトウェア製品の使用または使用不能から生じる直接または間接の損害（逸失利益の喪失、事業の中断、事業情報の損失、またはその他の金銭的損失を含みますがこれらに限定されません）に関して一切責任を負いません。たとえ、弊社およびその関係者がこのような損害の可能性について知らされていた場合でも同様です。

本契約は、日本国法に準拠するものとします。

以上
平成 19 年 12 月 1 日改定

目次

はじめに.....	2
「Multiple Monitor Power Tools 3」とは.....	2
「Multiple Monitor Power Tools 3 -体験版-」をご利用のお客様へ.....	2
「Multiple Monitor Power Tools 3 -正規版-」をご利用のお客様へ.....	2
使用許諾契約書.....	3
使用許諾契約書.....	3
その他の権利と制限.....	3
目次.....	6
第1章 はじめに.....	7
『Multiple Monitor Power Tools 3』の特徴.....	7
『Multiple Monitor Power Tools 3』使用前の基礎知識.....	7
システム要件.....	7
第2章 インストールガイド.....	8
『Multiple Monitor Power Tools 3』のインストール.....	8
『Multiple Monitor Power Tools 3』のアンインストール.....	11
『Multiple Monitor Power Tools 3』の修復.....	12
第3章 起動と終了.....	13
『Multiple Monitor Power Tools 3』の起動方法.....	13
『Multiple Monitor Power Tools 3』の終了方法.....	13
第4章 『Multiple Monitor Power Tools 3』の使用方法.....	14
はじめに.....	14
拡張タスクバー.....	14
ウィンドウ操作.....	15
タスクトレイのメニュー.....	16
表示位置固定の操作.....	18
ウィンドウ移動 (指定モニターで表示)の操作.....	20
プレゼンテーションでのミラーモード活用.....	21
書き込みツールの操作.....	22

第1章 はじめに

「Multiple Monitor Power Tools 3」の特徴

これまでマルチモニタという環境はありましたが、既存のアプリケーションソフトはマルチモニタ環境を快適に使えるように設計されておりません。

「Multiple Monitor Power Tools 3」はこれらのソフトをマルチモニタ環境で快適に使用できるようにするツールです。

マルチモニタといった特殊分野での知識は必要ありません。インストールするだけで「後は使うだけ」の環境が整います。

「Multiple Monitor Power Tools 3」使用前の基礎知識

マルチモニタ

マルチモニタとは1台のパソコンから複数のモニタに画像出力する機能です。

マルチモニタを用いることにより多数のプログラムやウィンドウを一望に表示する事ができます。なお、ご使用のOSやビデオボードにより接続できるモニタ数が異なります。OS毎のサポートする最大接続モニタ数は以下をご参照ください。

システム要件

本ソフトウェア をご使用いただくには、以下のパソコン環境が必要です。

ハードウェア

CPU	Windows Vista : Pentium4 3.0GHz 以上 Windows XP : Pentium 233MHz 以上 Windows 2000: Pentium 150MHz 以上
メモリー	Windows Vista : 64MB 以上(メインメモリ 1GB 以上推奨) Windows XP : 64MB 以上(256MB 以上推奨) Windows 2000: 32MB 以上(128MB 以上推奨)
ハードディスク	100MB 以上の空き容量
モニタ	SVGA(800 x 600)以上、256 色以上の表示

ソフトウェア

OSバージョン	対応	制限事項
Windows Vista		・システム管理者(Administrator)の権限でご利用ください。 ・接続するディスプレイアダプタにより変化します。
Windows XP		・システム管理者(Administrator)の権限でご利用ください。 ・最大接続数は10台までになります。
Windows 2000		・システム管理者(Administrator)の権限でご利用ください。 ・最大接続数は10台までになります。

詳しくは Microsoft 社にてご確認ください。

必要システム、ハードディスク容量は、システム環境によって異なる場合があります。

本製品には、日本語オペレーティングシステムは含まれておりません。

第2章 インストールガイド

「Multiple Monitor Power Tools 3」のインストール

- 1 「setup.exe」を実行します。
- 2 「Multiple Monitor Power Tools 3」のインストール画面で「次へ(N)」をクリックします。



- 3 「使用許諾契約の条項に同意します」を選択してから「次へ(N)」をクリックします。



4 ユーザー情報画面でユーザー名、シリアル番号を入力して「次へ(N)」をクリックします。



初期状態では体験版(30日間限定)用のシリアルキーが予め入力されています。正規版をご購入のお客様は、正規版のプロダクトキーを上書き入力してください。

5 インストール先フォルダとショートカットの設定を指定してください。



「全ユーザーにこのフォルダへのフルアクセス権を与える(E)」をチェックすると、「Administrator 権限」のないアカウントでも本ソフトウェアが使用可能になります。但し、インストール先フォルダへのセキュリティには十分な注意が必要です。

6 「インストール(I)」をクリックして、インストールを開始します。



7 「完了(F)」をクリックして、インストールを終了します。



『 Multiple Monitor Power Tools 3 』のアンインストール

「プログラムの追加と削除」を使ってアンインストールする場合

- 1 [スタートメニュー] - [設定]から[コントロールパネル]を選択します。
- 2 [プログラムの追加と削除]をダブルクリックします。
- 3 表示された画面で[『 Multiple Monitor Power Tools 3 』]を選択します。
- 4 [変更 / 削除]をクリックします。

「InstallShield Wizard」を使ってアンインストールする場合

- 1 インストーラー『setup.exe』を実行します。
- 2 [削除(R)]を選択します。
- 3 [次へ(N)]をクリックします。



『 Multiple Monitor Power Tools 3 』をインストールした後、再インストールするときには、その前にアンインストールを必ず行ってください。アンインストールせずに再度インストールすると、動作が不安定になる場合があります。

「 Multiple Monitor Power Tools 3 」の修復

- 1 インストーラー「setup.exe」を実行します。
- 2 [修復(P)]を選択します。
- 3 [次へ(N)]をクリックします。



第3章 起動と終了

この項では『Multiple Monitor Power Tools 3』の起動及び、終了方法の説明を行います。

『Multiple Monitor Power Tools 3』の起動方法

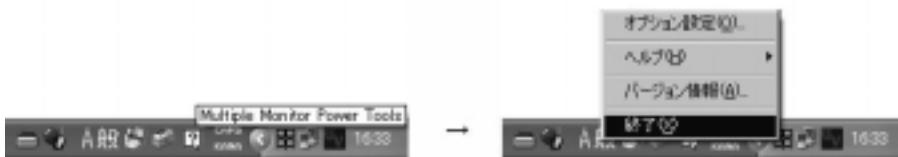
『Multiple Monitor Power Tools 3』を起動する方法は以下の通りです。

- 1 Windows スタートメニューで「プログラム(P)」を選択します。
- 2 『Multiple Monitor Power Tools 3』を選択します。

インストール時に『Multiple Monitor Power Tools 3』のショートカットをデスクトップに作成している場合は、デスクトップ上の『Multiple Monitor Power Tools 3』のショートカットを実行することにより『Multiple Monitor Power Tools 3』は起動します。

『Multiple Monitor Power Tools 3』の終了方法

『Multiple Monitor Power Tools 3』を終了する方法は以下の通りです。



タスクトレイの『Multiple Monitor Power Tools 3』のアイコンをマウスで右クリックし表示されるメニューリストから「終了(X)」を選択します。

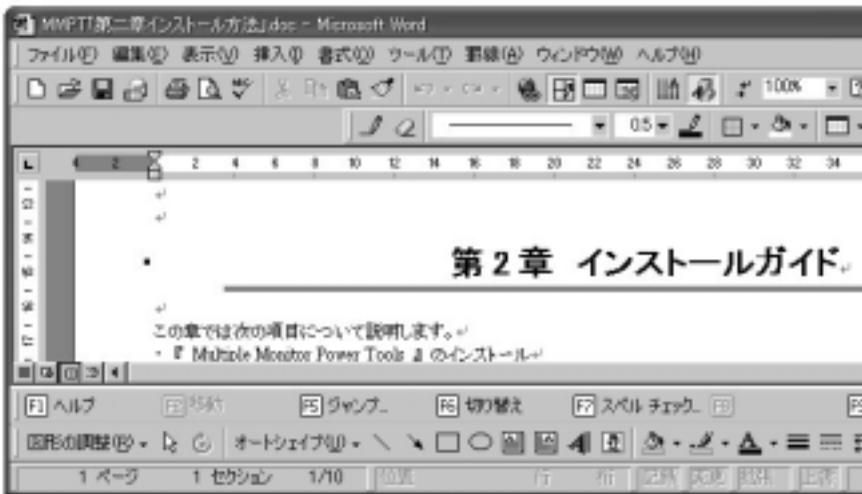
第4章 『Multiple Monitor Power Tools 3』の使用方法

はじめに

この章では『Multiple Monitor Power Tools 3』の使用方法を説明します。
機能についての操作、解説を行い、快適なマルチモニタ環境について説明します。

拡張タスクバー

メインモニタと全ての拡張モニタにタスクバーが表示されます。拡張モニタのタスクバーには、その画面に表示されているアプリケーション、ファイル、フォルダなどが表示されます。



拡張タスクバー上でマウスを右クリックすると表示するメニューです。

・常に手前に表示

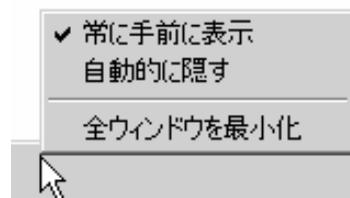
チェックでタスクバーはウィンドウの手前に表示します。
チェックを消すとタスクバーはウィンドウの裏に隠れます。

・自動的に隠す

チェックでタスクバー未使用時には画面外へ隠れます。
チェックを消すと元に戻り常に表示された状態になります。

・全ウィンドウを最小化

選択中のタスクバーに表示しているウィンドウを最小化します。



ウィンドウ操作

アクティブ・ウィンドウのタイトルバーに『Multiple Monitor Power Tools 3』の操作ボタンが表示されます。初期状態では「全画面へ拡大」「指定ウィンドウへの移動」「全ウィンドウ最小化」「全ウィンドウ終了」ボタンが、OS 標準のボタン「最小化」「最大化/元に戻す(縮小)」「閉じる」ボタンの左側に配置されます。

[初期状態]



オプション設定で表示する機能ボタンを選択できます。

[機能ボタン全てを表示した状態]



機能ボタンの名称 (初期状態)



全画面へ拡大

メインモニタと全ての拡張モニタを使用して、ボタンを押したウィンドウを最大表示にします。最大表示時には、「元に戻す」機能ボタンとなります。
水平に隣接する「画面の配置」の場合に限り有効



移動 (指定ウィンドウで表示)

ボタンを押したウィンドウを、現在表示されているモニタから指定したモニタへ移動、表示します。



全ウィンドウ最小化

表示中の全てのウィンドウを最小化します。
最小化できないウィンドウが表示されている場合は無効



全ウィンドウ終了

表示中の全てのウィンドウを終了(閉じる)します。
作成中のファイルがある場合、保存の有無を確認します。

機能ボタンの名称 (オプション設定で表示する拡張機能)



ミラーモード

ボタンを押したウィンドウを、全てのモニタに最大表示する機能です。
詳細は「ミラーモードの操作」を参照



表示位置固定

ボタンを押したウィンドウの表示位置を記憶し、次回から同じ位置に表示します。
詳細は「表示位置固定の操作」を参照

タスクトレイのメニュー

メインモニタのタスクトレイに『Multiple Monitor Power Tools 3』のメニューアイコンが表示されます。アイコン上の右クリックでプルアップメニューが表示されます。

オプション設定 (O)

機能ボタンの表示 / 非表示の選択
記憶された表示位置のクリア

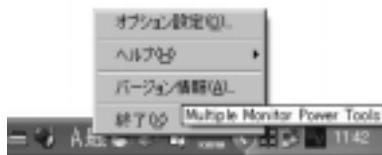
ヘルプ (H)

『Multiple Monitor Power Tools 3』のヘルプを表示します。

バージョン情報 (A)

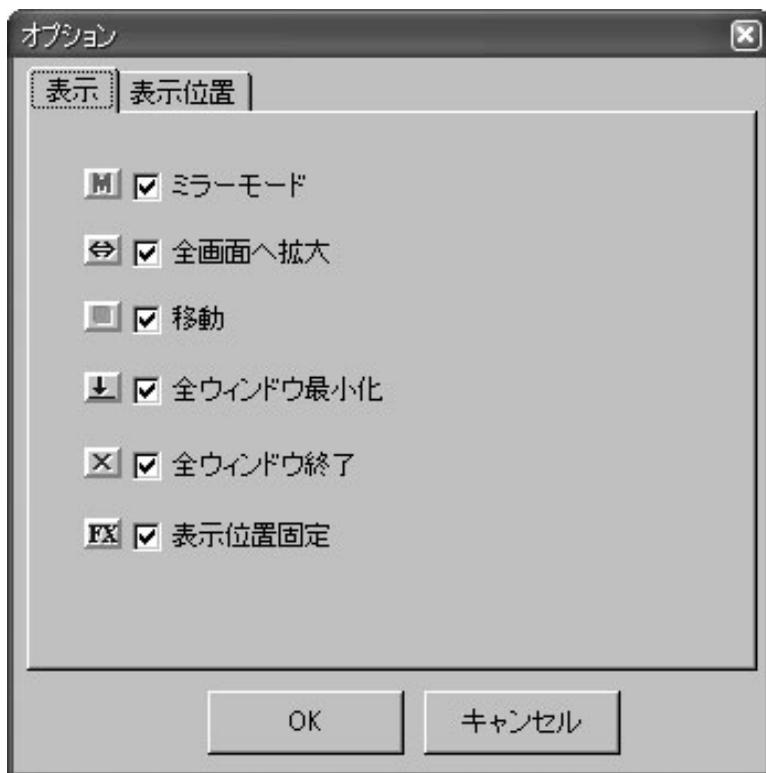
終了 (X)

『Multiple Monitor Power Tools 3』を終了します。



オプション設定

[表示] 機能ボタンの表示 / 非表示の選択



[表示位置] 記憶された表示位置のクリア



キーワード設定は赤文字で表示

表示位置固定の操作

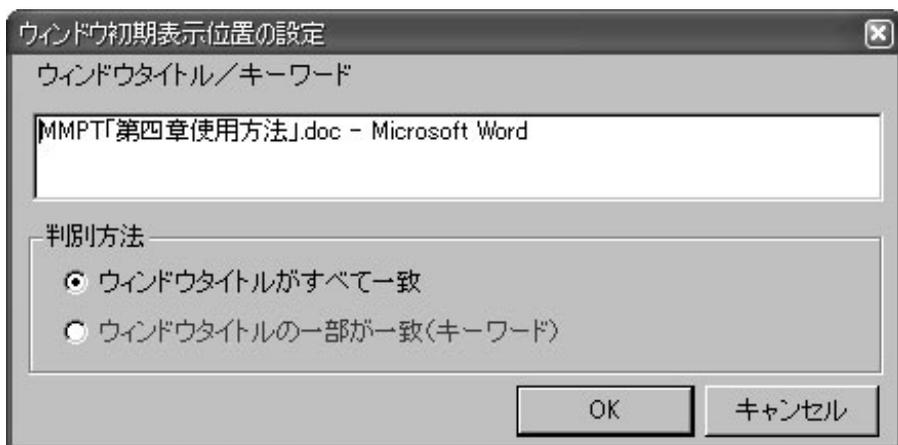
ボタンを押したウィンドウの表示位置を記憶し、次回から同じ位置に表示します。



・判別方法

[ウィンドウタイトルがすべて一致]

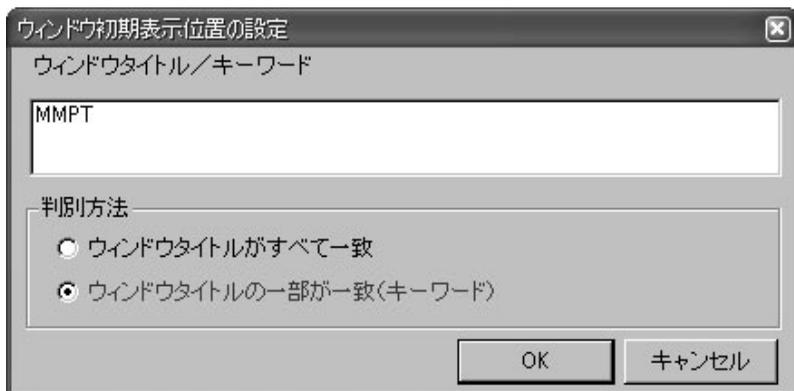
ウィンドウタイトルが全て一致した場合に限り、記憶した同じ位置に表示します。



[ウィンドウタイトルの一部が一致(キーワード)]

ウィンドウタイトルの一部がキーワードと一致した場合、記憶した同じ位置に表示します。

テキストボックスに表示されたウィンドウタイトルから、一致させたいキーワードを除く、余分な文字を削除します。



解除方法

「オプション」の「表示位置」タブで削除したい設定を選択し「削除」ボタンで削除します。



ウィンドウ移動 (指定モニタで表示) の操作

ボタンを押したウィンドウを、現在表示されているモニタから簡単に指定したモニタへ移動、表示します。



3画面配置したマルチモニタ環境を例に『Multiple Monitor Power Tools 3』の表示モニタ選択方法を説明します。

次のモニタアイコンをクリックやドラッグで選択する事でどのマルチモニタに表示させるかを指定できます。



・選択方法

【 1 画面の選択方法 】

表示モニタ選択で表示したいモニタのアイコンを選択します。

【 複数画面の選択方法 】

表示したい複数画面の一番左側のモニタアイコンをクリックし、そのまま表示したいモニタアイコンまでドラッグします。

ドラッグすることにより任意の複数画面での選択ができます。

ウィンドウは選択された複数画面内で最大表示されます。

プレゼンテーションでのミラーモード活用

「M」ボタンを押したウィンドウはプライマリ・モニタにアクティブウィンドウとして最大化表示され、プライマリ・モニタでの入力作業及び書き込みツールでの静止画像編集が行えます。「M」ボタンを押したウィンドウのモニタを含む他のモニタはミラーの静止画面になり、プライマリ・モニタ画面の内容変更がリアルタイムで反映されます。プライマリ・モニタのウィンドウの「M」ボタンを押した場合、ミラー静止画面は他のモニタに表示されます。

使用例として、プレゼンテーションを行う際、「サインはVGA」の画面をプロジェクターに映し、ミラーモードを活用すると便利です。



ミラーモード実行時には次の操作ウィンドウが表示されます。



操作ボタンの名称



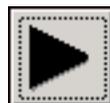
書き込みツール プライマリモニタに書き込みができ、リアルタイムにその他のモニタに反映されます。また、書き込んだ内容は BMP 画像として保存できます。 詳細は「書き込みツールの操作」を参照



ミラーモード終了 ミラーモードを終了します。
*ミラーモード終了後、ミラー静止画面が消え、使用していたウィンドウがプライマリモニタに表示します。



中断 ミラーモードを一時中断します。中断すると下記のような画面が表示されます。再開するまでプライマリ・モニタの変更はその他のモニタに反映されません。



再開 ミラーモードを再開します。

書き込みツールの操作

ボタンを押したウィンドウを表示していたモニタに文字や線、図形を書き込みことができます。
書き込みツール起動中、データ入力作業ができません。



[文字入力]



書き込みツールの「文字入力」を選択すると画面上に文字入力を行うことができます。
画面上でクリックすることにより下記の入力バーが画面上に表示されますので、文字を入力して下さい。



また、



により文字フォントの変更が可能です。

[鉛筆]



「鉛筆」を選択すると画面上に自由に線入力を行うことができます。

[スティックポインタ]



「スティックポインタ」を選択すると画面上にスティックポインタを表示することができ、マウスで当ててドラッグすることにより指示する場所を的確に指し示すことができます。

[図形描画]

「図形描画」を選択すると画面上に図形を描くことができます。



図形の形については



で設定することが可能です。

[消しゴム]



「消しゴム」を選択すると書き込んだ線等を消すことができます。



で書き込みを消す範囲(広さ)を指定して消すことができます。

【 図形描画 】

画面の上に書いた、文字、線、図形は「クリア」で消去することができます。

また、「保存」により BMP 画像データとして名前を付けて保存することも可能です。

保存



クリア



『 Multiple Monitor Power Tools 3 』 ユーザーズマニュアル

2007年12月初版発行

発行 有限会社 海連

Copyright © KAIREN Co.,Ltd. All rights reserved

発売元 : 有限会社 海連

〒359-1115 埼玉県所沢市御幸町11-1

TEL. 04-2928-6836 FAX. 04-2929-6297 E-MAIL. support@kairen.co.jp

開発元 : 株式会社 プロジェクトアイ

〒860-0826 熊本県熊本市平田1丁目14-8 亀川ビル2階

TEL. 096-312-2250 FAX. 096-312-2251